

アピール

すべての子どもたちのゆたかな学びを保障するインクルーシブな学校づくりを！

わたしたちは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況などをふまえ、第70次教育研究全国集会を初めてオンラインで開催しました。全体集会のみの開催でしたが、全国各地から多くのなかまが参加しました。

まず「全国教研70年のあゆみ」を視聴し、1951年の第1回教育研究全国大会から70年にわたる教研活動の歴史と成果をふりかえり、その重要性を再認識するとともに、次世代への継承と分会からの討議を積みあげ、深める組織教研を今後も力強くすすめることを確認しました。記念講演では、紛争地域の子どもや東日本大震災の被災地の子どもの実相を、「今生きていること」に寄りそう取材と写真を通して知り、「共感の種を育てる」ことを共有しました。

シンポジウムは、「新型コロナウイルス感染症拡大状況と子ども・学校・社会」をテーマに、全国各地をつなぎ、学校休業中や再開後の状況、厳しい生活環境や不安、顕かになった課題などを共有しました。そして、小学生、中学生、高校生、専門学校生、保護者、教職員、研究者のみなさんから、これからの学校・社会のありようについて、それぞれの視点から提言がありました。

今次教研はこれまでにない形態で開催しましたが、わたしたちは集会を通して、すべての子どもたちのゆたかな学びを保障するため、インクルーシブな学校づくりをさらにすすめることを改めて確認しました。これからも全国のなかまとともに、平和・人権・環境・共生を柱に、憲法・子どもの権利条約の具現化と民主教育の確立のため、学校現場からの教育実践をさらに積みあげていきましょう。

2021年1月23日
日教組第70次教育研究全国集会